

第24回市民との意見交換会・報告書（湊地区）

開催地区：湊地区	開催日時：令和3年11月20日（土） 18時30分 ～ 19時30分
担当班：第5班（出席議員）古川雄一、松崎 新、大山享子、村澤 智、後藤守江／（班外）清川雅史	
開催場所：湊公民館	
参加人数：男性 3名、女性 1名、合計 4名（うち班外議員 0名）（他自治体等傍聴者 0名）	
1. 議会報告、市政全般について	
<p>事前に湊町でまちづくりを担っている方に地区別テーマである「湊町のまちづくり」の報告をお願いした。当日は資料やニュースを準備していただき、まちづくりがどのように行われているのか知ることができた。</p> <p>また、情報として「スクールバスについて意見交換会で話を聞いてほしい」との連絡があり、事前にスクールバスについて準備をして臨むことで、地域の方々の思いや意見を聞き深めることができた。さらに、スクールバスを切り口として湊地区の自然環境、住民の方々の意向を知ることができた。</p>	

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況		※項目 キーワード	
		分類	番号		対応
<p>スクールバスについて。私には、中学1年の子どもがいる。4月から10月は自転車通学だが、冬季間の11月から3月は徒歩通学をしている。小学校の時はスクールバスを利用していたが、中学校では自宅と学校の距離の関係でスクールバスの利用ができない。お願いしたいのは、冬季間のスクールバス利用を認めていただきたいということ。これまで中学校の先生、校長先生と話し合いをしたところ、保護者が教育委員会と話をするように言われた。そこで、教育委員会となぜスクールバスを利用したいのかについて、①通学カバンと部活動のためのカバンなどで持ち物が多く重いこと。②湊地区の冬季間は、雪や吹雪のため徒歩で歩くことが困難な時があること。③午後5時を過ぎると暗く、集落が離れていて暗い夜道で外灯も少なく、帰り道は一人となるため不安であることを話した経過にある。しかしながら、結果は距離が短いため許可を得られなかった。</p> <p>現在は自費で路線バスを利用しているが、問題が2つある。①国道294号線を横断してバス停に行くことになるが吹雪の時の横断は見通しが悪く危険を伴うこと。②国道294号線の除雪作業によってバス停直近に山のような壁ができ、待つスペースが取れないことによる危険が伴うこと。小学校の時のスクールバスは集落を通る道の屯所の前で乗車していたため、そこでの乗車は安心できる。スクールバスの利用と希望する乗降場所を認めていただきたい。</p>	<p>スクールバスの利用には決まりがあり、小学生は2キロメートル以上、中学生は3キロメートル以上である。それについてはご理解いただきたい。他の参加者の方にも、今の要望について、どのように考えたらいいのか、意見をお聞きしたい。</p>	○	②		学校教育

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況		※項目 キーワード	
		分類	番号		対応
<p>スクールバスについて。湊地区にも人家の多いところと、人家の少ない、防犯灯のないところがあり、通学する集落と次の集落の間は民家がなく、防犯灯は1灯のため大変暗い道である。中学生が一人で歩くのは大変である。そういう事例も含めて考えてもらいたい。安全上のことも考えてスクールバスの利用を判断してほしい。</p>	<p>条件は違うが、北会津地区では、冬季間中学生はスクールバスが利用できたが同じ条件でも小学生は利用できない事例がある。そこで保護者は、学校や地域で訴え、さらに議会との意見交換会でも話し合いをしてきた。改善されたのは、荒館小学校に通学する距離の要件をクリアした児童は、中学生の乗るスクールバスに乗車できるようになった。また、川南小学校の距離の要件をクリアした児童は、コミュニティバスを朝利用することとなった。</p> <p>湊地区のスクールバス利用についての今回の意見は、一人だけの問題だと教育委員会は認めることはない。地域の方々と合意できるか、地域の皆さんと協議することで変わるかもしれない。みなとバスを活用して利用することができないか。利用時間の関係もあるが、こういったことができるのかを考えたい。</p>	○	②		学校教育
<p>スクールバスの代替手段として。みなとバスの利用については、これまでも小学生の児童が、こどもクラブの帰りで送ったことがある。現在、冬季間の12月から3月までは、朝8時の運行を中止しているが、9時以降は利用できる。夕方は、4時30分までの運行となる。</p> <p>スクールバス利用の許可が得られないという話を聞いて、冬季間は乗車させてあげたい。これまでも、笹山原の幼児をみなとバスで自宅からしらとり保育園まで乗車させてきた経過がある。冬季間だけでもスクールバスか、みなとバスに乗車させたい。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>	○	②		学校教育

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況		※項目 キーワード
		分類	番号	
<p>生徒が乗車するバス停は、今でも横断に注意し、風が強いときは吹きさらしの中でバスを待つことになる。これから冬を迎えるとバス停の場所は地吹雪が発生する場所である。</p> <p>現在でも、小学校のスクールバスは集落の前を通っていることから、冬季間だけでも利用させてあげたい。</p>	<p>3キロメートル以内でもスクールバスの利用を認めるべきとの地域の皆さんの理解と、許可をした場合になぜ認めたのかをきちんと説明することが必要である。こうした事例を認めると全市内のことになるため、教育委員会は原則で対応することとなる。そこで、スクールバスの距離だけで判断するのではなく、「冬季間の湊地区の地域性、特性、自然状況が違っていることについて、地域の特性を踏まえてスクールバスの利用を認めるべき」だと主張し、認めさせることである。問題は、スクールバス利用の制度のこと。制度を地域の皆さんの声で変えることである。</p>	○	②	学校教育

○ テーマに基づく意見交換について
(班でテーマを設定)

→ 湊町のまちづくりについて

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
	<p>本日は、「湊町のまちづくりについて」を議題として意見交換したいので、事務局を預かる鈴木さんから報告を受け、その後意見交換を行います。</p>			
<p>平成26年10月の区長会長から問題提起がなされ、6カ月話し合いを重ね、平成27年3月に湊地区のまちづくりを担う「湊地区地域活性化協議会」が結成された。平成28年3月に第1次湊地区ビジョンを作成、平成30年に第2次ビジョンを作成し活動している。その後、令和2年4月に「NPO法人みんなと湊まちづくりネットワーク」に移行した。その理由は、みなとバスを運行するためのバスを所有するためである。私たちの活動は、湊地区の継続したまちづくりを目指している。第2次ビジョンの計画期間は、令和元年度から令和4年度の4年間である。現在3年が経過し残すところ1年。組織は4つの部会で構成し、自治部会、生活物資部会、教育環境部会、産業交流部会がある。そして青年会が新たに結成され、名称はルート294湊会。各部会がそれぞれ活動している。別に湊地区のPR活動を行うPR隊があり、湊バンドを結成して活動している。テーマ曲は2曲あり、小・中学校の卒業式では、全員合唱が行われている。</p>	<p>湊町のまちづくりについてのご説明ありがとうございます。他の参加者からも、湊地区のまちづくりについてご意見を伺いたい。</p>	○	②	

○ テーマに基づく意見交換について
(班でテーマを設定)

→ 湊町のまちづくりについて

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
<p>(湊町のまちづくりについて)</p> <p>野菜出荷事業について。湊野菜の産地直売所で販売し、残った野菜を子ども食堂への支援として無料で提供している。その際、湊から子ども食堂への配達を(株)東海理化さんがボランティアで担っていただいている。みなとバス事業は、令和3年10月から有償化で運航している。1日6人から10人が利用されている。また、みなとチャンネルの相談、テレビを使った湊の情報発信を行っている。テレビは全戸の約半分が利用、スマホは若者を中心に普及している。湊町ふるさとサポーターは、湊町出身の方約1,100軒へお願いし、企業から協賛をいただいている。みなと電気事業は、電気代の一部を地域貢献へ還元している。自然・歴史・文化の発掘事業は、湊地区はたたら製鉄を製造していた歴史があり、猪苗代湖の砂鉄を利用し會津藩では日本刀を造っていた。こうした歴史を知ることなたたら製鉄づくりを2年間体験した。また、湊は炭づくりをしていたが、2年前炭づくりが途絶えたが今年復活させた。企業との連携について、全体会は約40から50人の参加、その後4部会を開催している。そこに毎回企業3社に参加いただいている。また、(株)T I Sさんは児童・生徒向けのロボット配送の実施、(株)東海理化さんは子ども食堂へ野菜の配達、(株)コスモエコパワーさんはみなとバス(電気自動車)へ電源供給と、こども園の児童・小学生・中学生の絵をステッカーにしてみなとバスに張り付ける事業に参加いただいている。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>	○	②	

○ テーマに基づく意見交換について
(班でテーマを設定)

→ 湊町のまちづくりについて

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
<p>(湊町のまちづくりについて) 大学との連携については、特に会津短大との交流がある。日大とは赤井谷地。東北芸工大は特別老人ホーム「絆」での作品展示。郡山女子短大は笹山原遺跡発掘などで連携している。これからは、背あぶり山、猪苗代湖、原川などの自然を生かすこと、カーボンニュートラルへの取組について、私たち（みんなと湊まちづくりネットワーク）の活動と大学・企業連携に取り組みたい。持続可能な子ども食堂への取組を進め、湊の農産物などの地域産業の継続で経済が地域で回る仕組みづくりに向け取り組みたい。</p> <p>私たち（みんなと湊まちづくりネットワーク）の活動を周知するため、令和3年8月に全戸にチラシを配布した。これまでも私たち（みんなと湊まちづくりネットワーク）の活動を住民に周知してきたが、それでも全ての住民の方が理解しているわけではないので、これからも丁寧に活動していく。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>	○	②	
	<p>長年の取組で地域が変わってきたのではないかと思う。また、役員や会員が取組に自信を持つことで、会として活動内容が以前より増えている。楽しみと苦しみがあると思うがどのように変わってきたのか教えていただきたい。</p>			
<p>みんなと湊まちづくりネットワークの会議では、前向きな発言からスタートしている。部会活動で動くことで、広がりが出ている。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p>	○	②	

○ テーマに基づく意見交換について
(班でテーマを設定)

→ 湊町のまちづくりについて

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
	湊町で昔行っていた、たたら造りや炭づくりは、どのように復活させたのですか。			
たたらづくりは、東北工芸大の生徒と教授にたたら造りはどうやるのかと尋ねた。また、会津短大の先生に聞き、その後、たたら造りをしている人を紹介されて横浜の先生とつながり、一緒にやり始めた。砂鉄については、東北芸工大とつながった。田代地区にたたらづくりと炭焼きの跡があり、市の埋蔵物文化財の指定となった。つながりができた。炭づくりは、炭が高価になっているが、地元の方の指導で始まった。86歳の指導者は、やる気になり、地区との連携につながった。本人も気持ちが若くなったと話しており、私たちから見ても元気になったと思う。	ご意見ありがとうございます。活動を通してどのような変化があるかについても伺う。	○	②	
86歳の炭づくりの指導者は、生き生きとしてきた。山歩きは、我々よりも早く歩いている。また、今年は芋煮会をやったが、来年はキノコ狩りをやろうと発言している。山の木をチェーンソーで切るなど、我々よりもすごいことをやっている。	高齢でも現役で働くことで、高齢者の課題となっている、地域でどのように高齢者を支えるのか等考えなくて良いですね。	○	②	
カーボンニュートラルの考えは、里山にある木を間伐することで、鳥獣対策につながり、間伐した木で炭づくり、炭を使い残った灰を畑にまき野菜作り。今まで購入した資材が湊で循環できる。このことを目指したい。	今、里山が荒れる、鳥獣被害があるなどの課題や問題があるが、炭づくりをすれば里山の管理もできてよいことですね。	○	②	

○ テーマに基づく意見交換について
(班でテーマを設定)

→ 湊町のまちづくりについて

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
たたら造りは2年やった。科学の実験のようで大人も童心に帰った。これからの取組は、猪苗代湖の砂鉄、里山の炭を使い、たたら造りにつなげていきたい。	地域での取組が回れば、研究機関や大学が地域に入りたいとなりませんか。こうした取組を全市に広めたいものである。	○	②	
	若者の変化について聞きたい。どのように変化したのか。			
最初の「湊地区地域活性化協議会」組織で、40代は何をやるのか分からないと抜けた。その後、しらとり保育園の会長、JCの理事長が意識を持って、保護者会の方や集落の若者に声掛けをして、20～30代と子どもの交流が始まった。赤井地区の大銀杏ライトアップ事業や、国道294号線ごみ拾い活動につながっている。	ルート294湊会の方々が中心だと、スポ少で活動する親御さんもいることから、スポ少サポート事業と結びつきますね。	○	②	
そうです、スポ少サポート事業でスポ少にお金が入るが、なぜ入るのか理解していないところがありました。ルート294湊会をとおして、みんなと湊まちづくりネットワークの会議や取組に参加することで理解が深まっている。湊チャンネルの配信に、スポ少活動について毎週提供するようになっている。	ご意見ありがとうございます。	○	②	

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの